



Vol 10 2018 1 31 マニラ日本人学校 大西 啓就（更別村立更別小学校）



Salamat Po=ありがとう。たくさん感謝の気持ちを忘れずマニラの様子を伝えていきたいと思います。

マニラ日本人学校の一大行事である運動会が終わりました。中学2年生が、全校児童・生徒を引っ張る姿を見ている小学生。どの子もその真剣な姿に影響され、低学年でも最後まで自分の組を全力で応援する姿が見られました。行事がある度に小中が一緒になっている学校の素晴らしい所だなと感じます。

セブ補習校で和太鼓を教えてきました

マニラから飛行機で約1時間南下した所にTVでも話題になっているセブ島があります。（過去の通信にも特集済み）、日本人学校では、この島にあるセブ補習校に年2回行き、通っている子ども達に授業を教えています。2年前、中学生に技術を教えてとても喜んでくれたので、また行きたいと希望を出し、先週末行ってきました。

さて、ここでセブ」補習授業校について簡単に説明します。

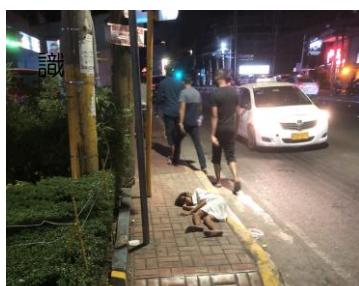
インターナショナル校に通う子ども達が週末に日本語や教科を学ぶ学校です。ただ、セブ補習校は文科省から認可を受けていないので、校長や先生は、一般人です。ちなみに、児童・生徒数は約70名。土曜日3時間の授業。クラスは、教科書の勉強するクラスと日本語を学習するクラスに分かれています。ほとんど、座学なので、実験・図工・体育などのリクエストが多いです。

日本の文化に触れさせられるような授業が無いかなと思い、現地の先生と連絡をとり和太鼓が2台あることを聞き、これしか無いと閃きました。和太鼓は、屈足小時代3年間やっていたので、こちらに来てから和太鼓クラブを担当しています。早速、2時間でできる曲を作り、16人分のバチを持ち現地当日を迎えました。



学校は、ビルの5階ワンフロアを、病院にカーテンで仕切り、各学年授業をします。日本語のできない子も和太鼓に夢中。ほとんど休みなく2時間やり切りました。楽しかったと言ってもらってホッとして帰ってきました。

フィリピンの明と暗



セブの街で夜ご飯の帰り、左の写真のような光景を見ました。10歳ぐらいの女の子が一人で道路に寝ています。久しぶりにこういう光景を見たのでドキッとしました。フィリピンには、20%強の最貧困層がいます。私たちの住んでいる地区はとても安全で、その中で生活をしていると危機意識やフィリピンの暗の部分を忘れがちになってしまいます。常に意識して生活していないかといけないと再認識した場面でした。